

## JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025 兵庫の受賞者へ賞状を授与

JICA が実施する「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」では、2025 年度「世界の幸せのために私たちができること～未来へつなげるために～」をテーマに作品を募集しました。

この度、全国からの応募総数 29,854 作品(中学生の部:11,943 作品、高校生の部:17,911 作品)の中から、「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」を受賞した生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西・兵庫デスク(国際協力推進員※)が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

※ 地域の JICA の窓口として、地域国際化協会など地方自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に JICA が配置しています。

世界との繋がりがますます深まる現在、未来のために、兵庫の中学生・高校生が何を考え、どのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

受賞生徒、学校教諭、兵庫デスクへのインタビューが可能です。

### 【日程】 2月27日(金)14:00～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
芦屋学園中学校	国内機関長賞	2	幸せの味は誰かの涙の味	芦屋市六麓荘町16-18

### 【日程】 3月4日(水)13:30～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
東洋大学附属 姫路高等学校	国内機関長賞	1	小さな手から始まる大きな希望	姫路市書写16 99

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課 TEL:078-261-0384

## <参考>

### 【受賞作品概要】

#### ●国内機関長賞 芦屋学園中学校 2年

##### タイトル:幸せの味は誰かの涙の味

夏祭りで綿菓子を食べた際、兄からの「砂糖には複雑な背景がある」という一言をきっかけに、砂糖に興味を持つようになった。調べる中で、15-16世紀のアメリカ大陸では奴隷たちが過酷な労働を強いられていた事を知り、綿菓子の後味を複雑に感じた。後日、チョコレートのパッケージにあるフェアトレードマークに目が留まり、未だ苦しんでいる作物の生産者がいるのかと考えた。アフリカでは児童労働や森林破壊が続いている現実を知り、誰かの幸せの味は誰かの涙の味であると深く思い知った。その後、私は一消費者としての責任を持つようになり、日々消費する食材をフェアトレードで選ぶように心がけ、地産地消も意識するようになった。幸せは片方から受け取るべきじゃなく、双方が噛み締めることで成立すると信じている。今年、母が経営予定の小売店で私はフェアトレードマーク付きチョコレートを商品棚に置くことを提案し、母は賛同してくれた。喜んだ私はチョコレートに噛り付き、口と心が幸せな味で満ちていくのを感じた。

#### ●国内機関長賞 東洋大学附属姫路高等学校 1年

##### タイトル:小さな手から始まる大きな希望

小学生の頃、募金活動に参加したときの「このお金で何人の子どもが助かるんだろうね」という友達の言葉が心に残っているが、大きくなり現実を知るにつれ、その言葉の重みは増した。高1で参加したフィリピン・セブ島のボランティアでは、恵まれているとはいえない状況下でも、子供たちは驚くほど明るく、希望を失わずに生きる子どもたちの強さを感じた。フィリピンから帰国後、「自分にできる事」を真剣に考えるようになった。世界で起きている課題を正しく知り、信頼できる情報を通して問題の背景を把握することが必要だ。そして知識を伝え、共有することでこの想いは広がるだろう。小さな一歩が積み重ねることで、大きな社会の変化へと繋がっていくと信じたい。世界の幸せの為に、遠くの誰かを自分ごととして捉え、私にできる小さな行動を積み重ね、誰もが夢を諦めず生きられる社会を作る為に歩み続けたい。

### 【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	1,042	329	1,371
京都府	579	742	1,321
大阪府	597	1,093	1,690
兵庫県	237	675	912
奈良県	151	80	231
和歌山県	159	19	178
計	2,765	2,938	5,703

#### 賞の種類(中学生・高校生共通)

個人賞	最優秀賞	3名
	(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)	
	優秀賞	3名
	審査員特別賞	4名
	国際協力特別賞	10名
	国内機関長賞	各都道府県1名以下
	佳作	70名程度
	【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修	
	その他個人賞:フェアトレード商品	
学校賞	60作品以上または全校生徒の3割以上応募	
	(副賞:表彰メダル)	
特別学校賞	5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)	

### 【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生を対象に、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962 年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2025 年度は高校生の部が 64 回目、中学生の部は 30 回目を迎える事業。

中学生の部の審査員長は尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部の審査委員長は星野知子氏(俳優・エッセイスト)に担っていただいた。

今年度をもって本事業は終了する。今後 JICA は、探求学習に活用できる教材の提供や JICA 海外協力隊等のオンライン出前講座の拡充などを通じて、新たな形で中高生の学びを支援していく。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QR コード参照)

